

■株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 株主確定基準日
定時株主総会
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
(中間配当を実施する場合)
- その他 そのほか必要ある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。
- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 単元株式数 100株
- 公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL
http://www.tok.co.jp/pn/public_notice.html
- 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第一部
- 証券コード 4186

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式(100株未満の株式)の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。なお、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○特別口座から一般口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
○単元未満株式の買取・買増請求		
○住所・氏名等のご変更		
○特別口座の残高照会		
○配当金の受領方法の指定(注)		
○郵送物の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人	手続き用紙のご請求方法 ○音声自動応答電話によるご請求 電話 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
○支払期間経過後の配当金に関するご照会		
○株式事務に関する一般的なお問い合わせ		

(注) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として「株式数比例配分方式」はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○郵送物の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
○支払期間経過後の配当金に関するご照会		
○株式事務に関する一般的なお問い合わせ		
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	



tok 東京応化工業株式会社

〒211-0012 川崎市中原区中丸子150番地
電話 044-435-3000 (代表)



tok

第80期 中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日

tok 東京応化工業株式会社

P1 To Our Shareholders
株主の皆様へ

業績の回復を最優先課題と認識し、事業構造改革を断行し経費削減を図ってまいりました。

P3 Business Review
事業別の業績概況

当第2四半期の事業別の業績についてご報告いたします。

P5 Financial Highlights
財務ハイライト

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、純資産/総資産、1株当たり当期純利益、株主還元について

P6 Financial Statements
財務諸表

第2四半期連結貸借対照表
第2四半期連結損益計算書
第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

P7 Topics
トピックス

- 緊急収益対策および事業構造改革の進捗状況
- シリコン貫通電極プロセス向け製品ラインナップ

P9 Stock Information
株式の概況

株式の状況、大株主(上位10名)、所有者別株式分布状況、株価の推移

P10 Corporate Data
会社の概況

会社概要、東京応化工業グループ、役員紹介

株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第80期第2四半期(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)の業績の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期は、業績の回復を最優先課題と認識し、事業構造改革を断行し経費削減を図ってまいりました。また、業績面では、材料事業は順調に推移したものの、装置事業で苦戦を強いられる結果となりました。今後も先行き不透明感が強く、引き続き事業構造改革を実行し、安定した経営基盤の構築を目指してまいります。

取締役社長 中村洋一

To Our Shareholders

の創出に向けた研究開発を加速させ、早期事業化に向けた活動を行ってまいりました。

今後の課題と戦略

新生東京応化を目指し、引き続き事業構造改革を実行し強固な企業体質の構築を図るとともに、新規事業領域で高いシェアを確保できる新製品の創出に取り組んでまいります。

事業構造改革

- 国内製造拠点の統廃合
- 装置事業の抜本的改革

新規事業領域

- シリコン貫通電極形成システムの販売促進
- 次世代太陽電池分野向け製品の事業化
- ナノインプリント技術の開発による製品創出

第80期通期の見通し

材料事業、装置事業とも最悪期は脱したものの、まだ先行き不透明感が漂う展開が予想され、通期の連結予想数値といたしましては、売上高700億円、営業損失6億円、経常損失1億円、当期純損失3億円を見込んでおります。

第80期第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における売上高は、材料事業では、半導体市場、液晶ディスプレイ市場の在庫調整の一巡から順調に推移いたしましたが、装置事業において苦戦を強いられた結果、325億7千万円(前年同期比33.9%減)となりました。一方、利益面におきましては、営業損失7億94百万円(前年同期は営業利益31億45百万円)、経常損失7億27百万円(前年同期は経常利益33億82百万円)、四半期純損失6億89百万円(前年同期は四半期純利益9億45百万円)となりました。

配当金

当期の中間配当金につきましては、四半期純損失を計上するなど大変厳しい決算を考慮し、1株につき3円減配の15円とさせていただきます。

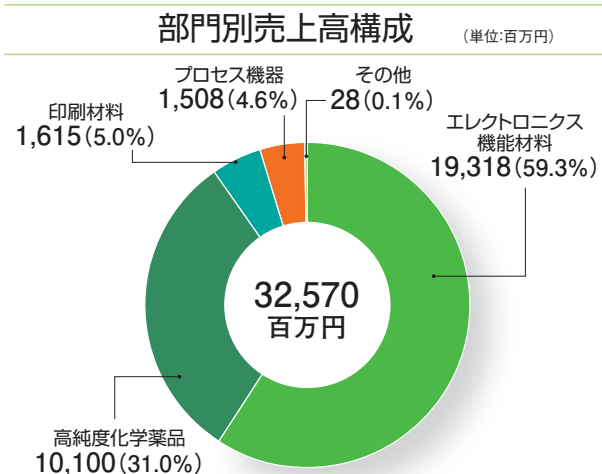
第80期第2四半期の事業展開

昨年後半以来の厳しい状況からは脱しつつある中で、半導体用フォトレジストで先端材料の開発や営業活動に注力したほか、新規事業領域におきまして新たな製品

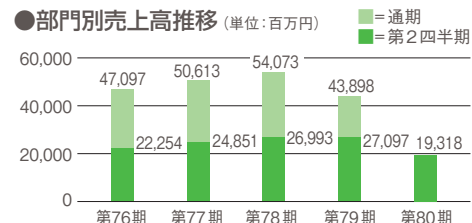
材料事業は順調に推移いたしましたが、装置事業は苦戦を強いられました。

材料事業におきましては、各国政府の景気刺激策によりユーザーにおける生産稼働率の改善が見られ、エレクトロニクス機能材料と高純度化学薬品の売上が順調に推移いたしました。一方、装置事業の売上は、検収遅れの影響などから低調に推移いたしました。

この結果、材料事業の売上高は、310億62百万円(前年同期比28.3%減)、装置事業の内部取引を除いた売上高は15億8百万円(同74.6%減)となりました。



エレクトロニクス機能材料部門



エレクトロニクス機能材料部門は、半導体用フォトレジスト、液晶ディスプレイ用フォトレジストとも需要回復の兆しが見られましたものの需要はまだ前年同期の水準には至らず、当部門の売上高は193億18百万円(前年同期比28.7%減)となりました。



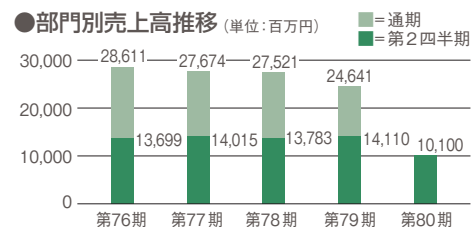
半導体用フォトレジスト



液晶ディスプレイ用フォトレジスト

材料事業

高純度化学薬品部門



高純度化学薬品部門は、復調の兆しはあるものの本格的な回復には至らず、当部門の売上高は101億円(同28.4%減)となりました。

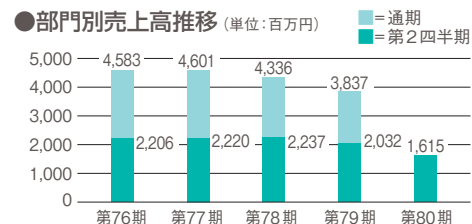


フォトレジスト付属薬品



フォトレジスト付属薬品

印刷材料部門



印刷材料部門は、需要低迷等の影響から低調に推移し、当部門の売上高は16億15百万円(同20.5%減)となりました。



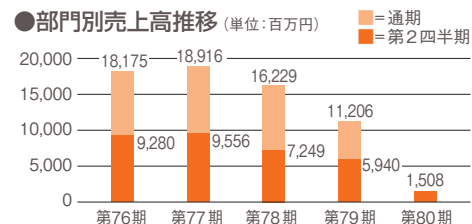
フレキソ印刷向け樹脂版と印刷物



フレキソ印刷向け樹脂版と印刷物

装置事業

プロセス機器部門



プロセス機器部門は、ユーザーにおける設備投資抑制の影響から受注の減少ならびに検収の遅延等により、売上は前年同期を大きく下回り、当部門の売上高は15億8百万円(同74.6%減)となりました。

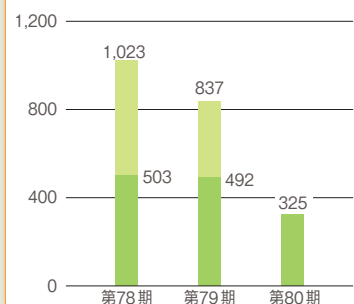


第8世代基板対応コーター スピンレス® [TR130000Sシリーズ]

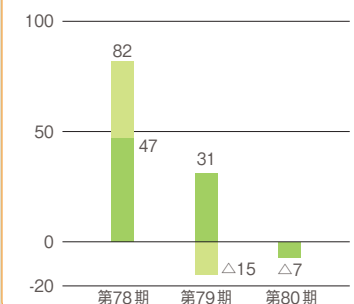


ゼロニュートン® 用サポート板分離装置 [TWRシリーズ]

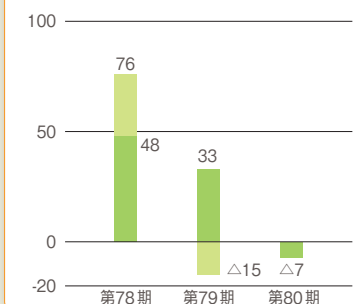
●売上高 (単位: 億円) ■ = 通期 ■ = 第2四半期



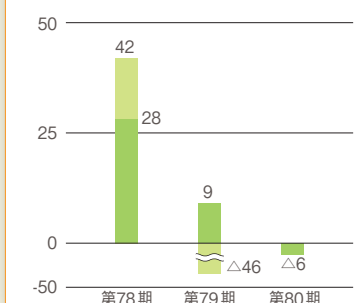
●営業利益 (単位: 億円) ■ = 通期 ■ = 第2四半期



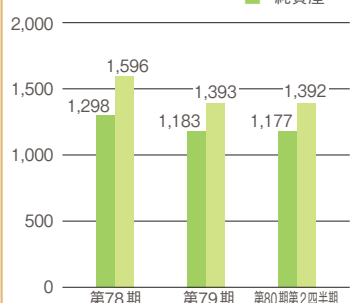
●経常利益 (単位: 億円) ■ = 通期 ■ = 第2四半期



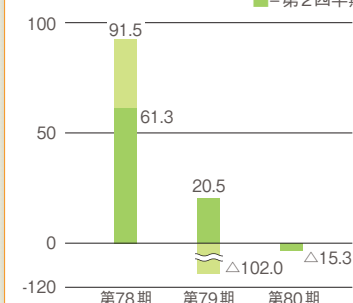
●当期純利益 (単位: 億円) ■ = 通期 ■ = 第2四半期



●純資産/総資産 (単位: 億円) ■ = 総資産 ■ = 純資産



●1株当たり当期純利益 (単位: 円) ■ = 通期 ■ = 第2四半期



株主還元について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要経営課題の一つと認識し、配当につきましては、安定的かつ継続的に実施することを基本方針としております。また、長期的な視点から、持続的な企業価値向上のための原資として内部留保も確保しております。

●配当金の推移

	第79期		第80期	
	中間	期末	中間	期末(予想)
配当額	18円	17円	15円	15円

■第2四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期末 (平成21年9月30日現在)	前第2四半期末 (平成20年9月30日現在)	前期末 (平成21年3月31日現在)
【資産の部】			
流動資産	78,693	94,441	80,667
固定資産	60,559	61,962	58,671
有形固定資産	37,652	43,475	39,148
無形固定資産	447	797	585
投資その他の資産	22,459	17,689	18,937
資産合計	139,252	156,404	139,338
【負債の部】			
流動負債	19,487	25,039	18,755
固定負債	1,994	2,107	2,205
負債合計	21,481	27,146	20,961
【純資産の部】			
株主資本	116,288	125,485	117,743
資本金	14,640	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,207	15,207
利益剰余金	89,365	99,087	90,819
自己株式	△2,925	△3,450	△2,925
評価・換算差額等	△196	1,544	△1,109
少数株主持分	1,680	2,228	1,744
純資産合計	117,771	129,257	118,377
負債純資産合計	139,252	156,404	139,338

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■第2四半期連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	32,570	49,240	83,702
売上原価	23,775	34,402	62,627
売上総利益	8,794	14,837	21,074
販売費及び一般管理費	9,589	11,691	22,590
営業利益	△794	3,145	△1,515
営業外収益	382	390	902
営業外費用	314	153	921
経常利益	△727	3,382	△1,534
特別利益	39	73	18
特別損失	402	853	3,809
税金等調整前四半期(当期)純利益	△1,090	2,602	△5,325
法人税、住民税及び事業税	55	942	729
過年度法人税等	-	551	562
法人税等調整額	△479	40	△2,056
少数株主利益	22	122	95
四半期(当期)純利益	△689	945	△4,656

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前第2四半期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	200	8,085	10,802
投資活動によるキャッシュ・フロー	829	△4,832	△2,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△940	△883	△2,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	△161	△602
現金及び現金同等物の増減額	200	2,208	4,918
現金及び現金同等物の期首残高	24,458	19,539	19,539
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	24,658	21,748	24,458

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。



PICK UP

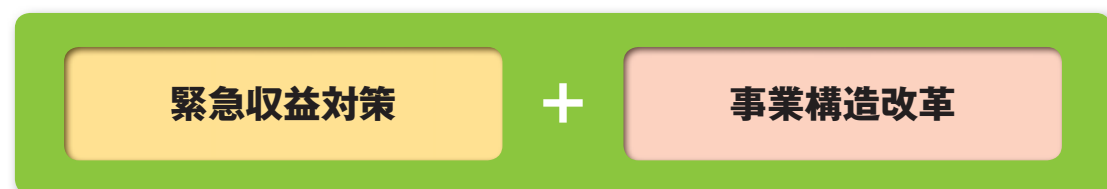
■営業利益

緊急収益対策や事業構造改革により経費削減を図ったものの、売上高の減少や為替の影響があり営業損失となりました。

緊急収益対策および事業構造改革の進捗状況

第80期(平成22年3月期)は、業績の回復を最優先課題と位置づけ、「緊急収益対策」および当社始まって以来の「事業構造改革」に取り組んでおり、この第80期第2四半期におきましては、前年同期と比べて約30億円のコストを削減することができ、順調な進捗となっております。

今後も全社一丸となった取り組みを継続し、低コスト体質な企業へと転換を図ってまいりたいと考えております。



第80期第2四半期での実績

約30億円のコスト削減
(第79期第2四半期との比較)

事業構造改革の進捗状況

- **早期退職特別優遇措置の実施** ▶ 101名が応募(平成21年6月末に退職)
- **国内製造拠点の統廃合** ▶ 平成22年3月末を目処に生野工場を閉鎖
- **装置事業の抜本的改革** ▶ 新規装置の開発を加速

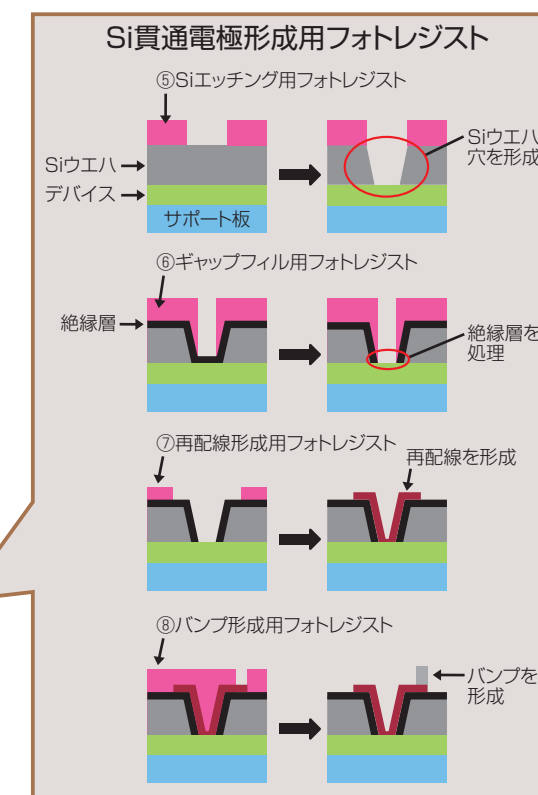
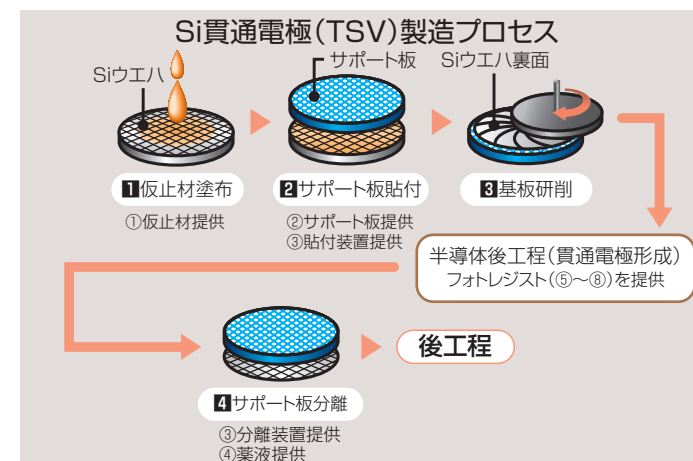
シリコン(Si)貫通電極プロセス向け製品ラインナップ

携帯電話やデジタルカメラなどのモバイル用の小型電子機器をはじめ、フラットパネルディスプレイやパソコンなど様々な電子機器では、半導体デバイスのさらなる高集積化による高性能化・高機能化が進められています。終わりなき半導体デバイスの高集積化に向け、従来から進められてきた回路の微細化と並行して、ウエハの薄片化とSi貫通電極(TSV)を組み合わせた三次元実装技術が注目されています。

当社ではSi貫通電極プロセス構築に向け、薄片化したウエハを扱うために必要な材料や装置を含むウエハハンドリングシステム「ゼロニュートン®」をいち早く開発するなど、電子機器の高集積化に寄与する製品の開発に注力し、ユーザーニーズに合致した製品を提供してまいります。

Si貫通電極(TSV)プロセス向け製品ラインナップ

- ◆ **ゼロニュートン®**
 - ① 仮止材(ウエハとサポート板を貼り付ける材料です)
 - ② サポート板(ウエハに貼り付ける剛性のある板で、薄片化されたウエハに強度を持たせます)
 - ③ 貼付・分離装置(ウエハとサポート板を貼付・分離する装置)
 - ④ 薬液(ウエハとサポート板を剥がすための薬液)
- ◆ **フォトレジスト**
 - ⑤ Siエッチング用(Siウエハに穴を開けるフォトレジストです)
 - ⑥ ギャップフィル用(Siウエハの穴の底を加工するフォトレジストです)
 - ⑦ 再配線形成用(基板の裏に配線を作るフォトレジストです)
 - ⑧ バンプ形成用(ウエハ裏面に電極を形成するフォトレジストです)



株式の状況

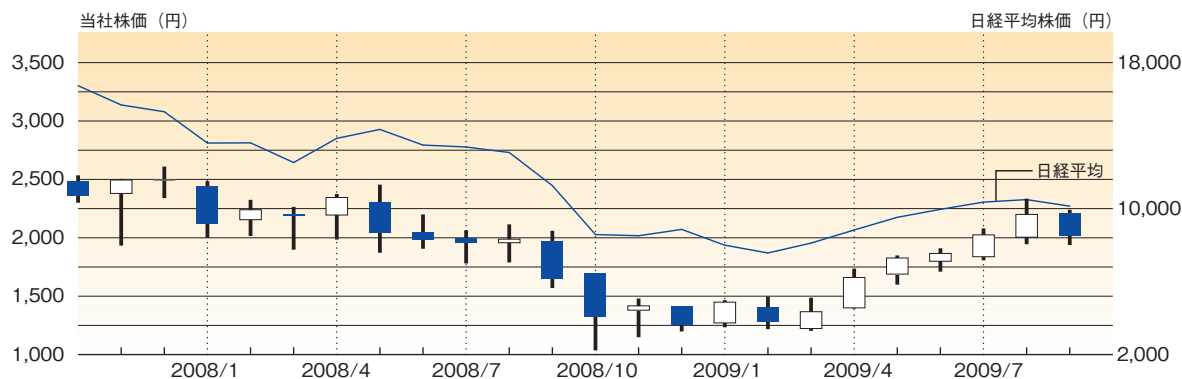
発行可能株式総数	197,000,000株
発行済株式の総数	46,600,000株 (自己株式1,593,062株を含む)
株主数	9,768名

大株主 (上位10名)

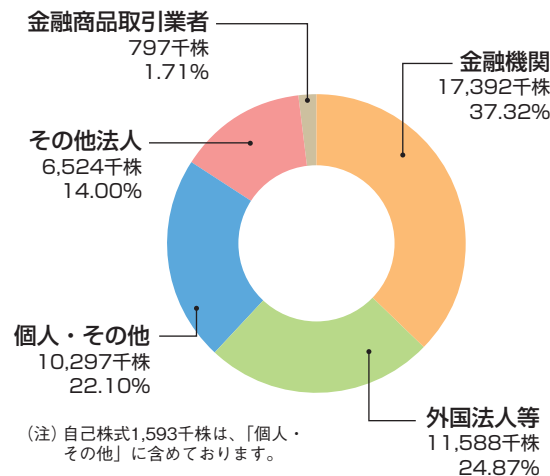
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,529	7.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,441	5.43
明治安田生命保険相互会社	2,148	4.77
エムエルピー エフエス カストディー	1,495	3.32
株式会社横浜銀行	1,283	2.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,207	2.68
財団法人東京応化科学技術振興財団	984	2.19
三菱UFJ信託銀行株式会社	953	2.12
三菱UFJキャピタル株式会社	859	1.91
東京海上日動火災保険株式会社	858	1.91

(注) 1. 当社は、自己株式を1,593千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 出資比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数 (45,006,938株) を基準に算出しております。

株価の推移



所有者別株式分布状況



会社概要

社名	東京応化工業株式会社 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.
設立	昭和15年10月25日
資本金	14,640,448,000円
従業員数	1,753名 (連結) (出向者11名を除く)
本社所在地	〒211-0012 川崎市中原区中丸子150番地 電話044 (435) 3000 (代表)

東京応化工業グループ

〔海外子会社〕
トウキョウ・オーカ・コウギョウ・アメリカ・インコーポレーテッド
ティーオーケー・イタリア・エスピーエイ
台湾東應化股份有限公司
ティーオーケー・コリア・カンパニー・リミテッド
長春應化(常熟)有限公司
トウキョウ・オーカ・コウギョウ・ヨーロッパ・ビーブイ

〔国内子会社〕
山梨応化株式会社
熊谷応化株式会社
ティーオーケーエンジニアリング株式会社
ティーオーケーテクノサービス株式会社
オーカサービス株式会社

役員

取締役および監査役		
代表取締役社長	執行役員社長	中村 洋一
代表取締役専務執行役員 材料事業本部長		小峰 孝
代表取締役専務執行役員 管理本部長		開発 宏一
取締役執行役員 営業本部長		岩崎 光文
取締役執行役員 特命担当		大田 勝行
取締役執行役員 開発本部長		小原 秀克
*1 取締役		牧野 二郎
常勤監査役		大多和 茂
*2 監査役		檜垣 不二夫
*2 監査役		行田 治彦

(注) *1 取締役牧野二郎氏は、社外取締役であります。
*2 監査役檜垣不二夫および監査役行田治彦の両氏は、社外監査役であります。

執行役員

専務執行役員	管理本部副本部長	堀 越 昭 則
執行役員	プロセス機器事業本部長	田 澤 賢 二
執行役員	材料事業本部副本部長	浅 羽 洋
執行役員	TOKYO OHKA KOGYO AMERICA, INC. 取締役社長 材料事業本部副本部長 兼 部工場長	駒 野 博 司
執行役員	営業本部副本部長	岩 佐 純
執行役員	台湾東應化股份有限公司 董事長 兼 総経理	藤 下 一
執行役員	管理本部副本部長 兼 総務部長	水 木 國 雄
執行役員	経営企画室長	阿 久 津 郁 夫
執行役員	開発本部副本部長 兼 先端材料開発三部長	佐 藤 晴 俊